

## パパとの約束守るからね

千葉県  
千葉市立幕張南小学校五年

### 諏訪 こころ

「パパの事は絶対に忘れないよ。私の心の中には、いつもパパがいるからね。」

私の父は、三年前から肝臓と腎臓を悪くして病氣と闘っていました。入退院をくり返したり、胸やお腹に水がたまらないように毎日注射に行ったり、一日に飲む水の量も決められ、好きな食べ物・飲み物もガマンして頑張っていました。私はいつも「パパかわいそう」と思っていました。父は大丈夫だと。それどころか、水泳の選手クラスの私が、ベストタイムが出ない。大会でいい結果が出ない時は、「こころ、ガマン。ガマン。頑張っていれば、きっといい事があるよ。続ける事が大変なのだ。」とはげましてくれました。本当は父の方がつらくてある日は五時に起き、ご飯を食べ、おにぎりを作り練習に出かけた。好きでやっている水泳だし、父は私の水泳を応援してくれていたから、頑張った。

二月一日午後七時ごろ、病院にいる母から「パパがぶないから、お姉ちゃんと病院に来なさい。早くね。パパが待つてるからね。」と電話があった。とてもこわかった。パパが死んじゃう〴〵と思つたら、こわくてたまらなかつた。病院に着いたら父は、少し苦しうに息をしていた。でもしっかり生きていた。しばらくして、父の息が静かになつてきた。「パパ頑張つて。こころだよ。わかる？みんなそばにいるからね。パパ。パパ。」

と大きな声で声をかけた。父は、二三日前から意識がななく声をかけても、手を握つても反応がなく、私たち家族もわからなかつた。そんな父の目に涙があふれこぼれた。母が私達に父の手を握らせ、

「パパわかつているよ。聞こえているよ。」

と。私は今までより、大きな声で

「パパ頑張つて。パパありがとう。」と言つた。その時、父の心臓の動きを示す機械が0と示し一本の直線になつた。父は笑っているようだった。母は「パパ頑張つたね。やつとラクになつたね。」とてもつらかつた。悲しかった。この日の事は、絶対に忘れない。

葬儀も終わり、母は『葉っぱのフレディ』という本をよこした。命についての本だった。命は永遠に生きている。生まれて死ぬまでの様子、何かに役に立ち、その生き方は色々あり、やがて終わっていく。でもその命は、ずっとつながっている。心に残る言葉や行動を残しながら。私にも父の言葉など、残つてる。

「パパ。私との約束を、覚えてる？水泳が大好きで、水泳選手の道を選んだ時、パパが私に言つたよね、いつか、イルカと一緒に泳いで、イルカと遊ぼうね。」

と言つた事。パパとは一緒に出来ないけど、パパとの約束を守るため、これからも練習頑張るから、応えんしてね。パパ。ありがとう。そして、パパの子に生まれてよかつたよ。